

## 山北町立やまきたこども園

研究テーマ：実体験をとおして、自然を感じる子どもをめざして

### 1 実践の目的

子どもたちが自然とふれあうことで得られる経験は、豊かな感性をつちかうことにつながっていく。自然の中で得る学びを大切に保育を紡いでいくことは重要であると考え、山北の自然を生かして保育を進めていくことを焦点にした。

子どもが自然に親しみ興味を膨らませながら、自然の中で遊ぶ楽しさを感じ、また地域の交流をとおして豊かな心を育みたいと考え、研究主題を「自然と出会い体験する中で豊かな心を育む」とした。

### 2 実践の内容

#### (1) 重点テーマについて

重点テーマを「実体験をとおして、自然を感じる子どもをめざして」と設定した。その中で以下の3点をキーワードとして研究を進めた。

#### ① 地域・家庭

- ・懇談会や個人面談、アンケート等の機会を設け、保護者からの意見を取り入れる。
- ・老人会園芸部の方との交流をする。(さつま芋・トマトの収穫など)
- ・梅もぎ体験や、田んぼでの泥んこ遊びなど、地域の方とのつながりを大切にしていく。

#### ② 五感

- ・普段の保育の中で自然を意識し、感じたことを言葉に出して伝えるようにしていく。
- ・生き物の飼育をとおして、見たり触れたり

しながら変化する姿の不思議さを感じる。また、成長過程で興味を深め実体験の積み重ねを大切にしていく。

#### ③ ICTの活用

- ・子どもたちが疑問に思ったこと、不思議に感じたことなどを学びにつなげていく。
- ・園での活動や子どもの育ち、学びを保護者に分かりやすく伝えるため、「はいチーズ！」でドキュメンテーションの配信をしていく。

#### (2) 園での取り組みの様子

##### ① 地域・家庭について

幼児クラスは、今年も梅もぎ、竹林遊び、田んぼでの泥んこ遊び、鐘つきなど、地域でしか味わえない体験ができた。ハロウィン散歩では、事前に園の思いを保育者が商店街に行き話し、互いの思いを理解した。保育者だけでなく子どもたちも地域の方と挨拶を交わすなど自然なかかわりがみられた。地域の方々への感謝の気持ちを今後も大切にしていきたい。



般若院で鐘つき体験

##### ② 五感

園庭では、自分の好きな遊びを楽しんでいる。その中で、見たり、手でふれたり、鳥の声を聞いたり五感を刺激することがある。年齢により、感じ方は違うが保育者が実際に感じたことを代弁することで、自然事

象を身近に感じることができている。

戸外では、段差のある場所に登る、細い道を歩くなど、体力がつくとともにバランス感覚も養われている。



紅葉したあとの葉っぱで落ち葉シャワー

### ③ ICT の活用

保護者に園の活動を知ってもらうために、iPad を使って子どもたちの姿を発信した。降園時に親子で一緒に見る場を設けたことで、親子の会話のきっかけとなった。また、今年度導入した「はいチーズ！」でドキュメンテーションの配信を月2回行ったことで、活動をわかりやすく保護者に伝えることができた。「はいチーズ！」で感染症の発生状況等をいち早く保護者に伝えることで、家庭と共通認識をもち、予防対策に取り組むことができた。

(3)0歳から15歳までの一貫教育・保育  
今年度は、小学生との交流を多くもつことができた。田んぼでの泥んこ遊び、教室と一緒に昼食を食べる体験、収穫祭への参加などをしたことで、子ども同士のかかわりが深まり、就学への安心感につながった。



4歳児3園交流

3園交流では、5年生児童手作りの絵本「ねこしょうがっこうのいちにち」を見る機会があり、小学校での生活を知ることができた。4歳児も3園交流を行い、友だちとの出会いをとおしてワクワク・ドキドキの心を育む姿が見られた。

## 3 実践の成果と課題

- ・地域とのかかわりを深めたことで、園への理解につながり、保育者だけでなく子どもたちが地域の人に親しみを感じる機会が増えた。
- ・様々な実体験が自然への興味関心を高め、自ら自然にかかわる姿につながった。
- ・ICT を活用したことで家庭と思いを共有しやすくなった。また、子どもから日々の保育を保護者に伝える姿が増えた。
- ・懇談会や給食の試食会を行い、保護者との会話を深めることができた。

## 4 今後の展開

- ・地域とのつながりを深めるために、職員間で交流の良さを共有する。保護者への発信も継続していきたい。
- ・子どもたちが経験したこと、新たな発見、気づきなど一人ひとりの思いに共感していきたい。
- ・ICT を使って取り組みの様子を保護者に動画や写真を用いて発信していきたい。
- ・ICT の活用方法として自然物などを動画で撮り観察するなど iPad を保育のツールとして使っていきたい。
- ・親子でのふれあい会や懇談会の参加者を増やせるように事前の説明を丁寧に行いたい。